

令和6年度 12月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年12月25日(水)
- ◎開催日時 令和6年12月25日(水) 午後3時15分～午後4時20分
- ◎場 所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席者 市長、福與教育長、北原教育長職務代理者、田畑委員、黒河内委員、宮坂委員
- ◎欠席者 なし
- ◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、早川市誌編さん室長、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・12月2日は七十二候の橘始黄になる。橘はみかんの仲間で、古来より永久、悠久の意味を持つものとされており、左近の桜、右近の橘というような平安京の皇居にも植わっている木で、古来より冬になっても枯れない、そうした永久性を大事に文化の象徴として文化勲章のデザインにもなっている。
- ・文化や教育は、そういう永遠性、永久性を持っている、冬の景色の中に黄色い実があるのは殺風景な中に明るさ、温かみを覚える。我が家でも金柑の黄色い実がなるが、明るい気持ち、温かい気持ちになり、何か温かさを感じる存在でなくてはいけないと改めて思った。
- ・本年最後の定例教育委員会ということで、よろしくお願ひしたい。

3 委員のひと言 黒河内委員「教員の働き方改革について」

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・11月28日には通学路安全推進会議があり、警察、建設事務所等と市の関係部局等が集まった。
- ・通学路では172ヶ所市内を危険箇所として指定していて、全箇所では何らかの対応をしていますが、全てが十分というわけではなく、特に春富中学校の中組土橋線の朝夕の車の往来が非常に激しいということで、今後について意見交換した。
- ・12月2日には美篤小学校の開校記念があり、資料館には昔の井戸端が復元されていた。子どもたちのためにということで、地域の皆さんが保存活用して作ってこられた。大事にしていく資料であり、デジタル化にも繋がる話かなと思った。
- ・12月7日には読書感想文表彰式、ニシザワ文芸コンクールの表彰式があり、今年1337点、受賞者21人ってということで、全ての感想文について講評させていただいた。そこにある学びは、自分から読もうというところから始まり、主体的にまた深い学びがあり、継続してこそその力になっていくものだと改めて思った。
- ・12月9日には学校法的相談アドバイザーの三浦先生による第1回の研修会を行い、学校を取り巻く法的環境等について講義いただいた。また視点を定めて行いたい。
- ・12月22日には全国高等学校駅伝競走大会視察に京都へ視察に行った。長野県は男女アベック優勝で、特に長野東は公立学校、しかも長野県の中の子どもたち5人で編成し、うち3人が上伊那出身、うち2人が春富中学校出身ということで、何よりの喜びだった。

第2 報告事項

- (1) 伊那市学校法人の助成の手続に関する条例の一部改正について
 - ・学校教育課長から資料に基づき説明

(質問・意見なし)

(2) 中学生の自習室2025冬の実施について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育長から「2日間だけの開設であるが、大勢の中学生が参加してくれる。私たちが気にしているお子さんたちも何人が参加してくれるようで、うまく繋いで3学期がスタートになる実習室になれば良いと考えている。」旨の補足があった。

(3) 人権同和教育事業について

- ・教育次長から資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

(4) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
- ・市誌編さん室長から「表紙には、昭和32年の高遠町本町交差点から西を望む写真があるが、奥に見える大きめの建物は何か。」との質問があり、教育長職務代理者「映画館かもしれない」、教育委員「高遠電灯だと思う。」旨の回答があった。

(5) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・教育次長から資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

(6) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明
- (質問・意見なし)

6 閉 会